

Title	文部科学省21世紀COEプログラム 知識科学に基づく 科学技術の創造と実践 分野横断イノベーション研究 教育拠点 最終成果報告書 平成15～19年度
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2008-03
Type	Research Paper
Text version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10119/4852">http://hdl.handle.net/10119/4852</a>
Rights	
Description	

# 知識科学に基づく 科学技術の創造と実践

分野横断イノベーション研究教育拠点

最終成果報告書  
平成15～19年度



21世紀COEプログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」(平成15年度～19年度)では、知識科学研究の応用範囲を経営学・組織論の分野から技術開発分野へと拡張を目指してきました。後半は拠点形成活動を「イノベーション研究教育」に重点化し、知識科学研究科とマテリアルサイエンス研究科にまたがる分野横断プロジェクトと、ポスドク研究員や博士後期課程学生への教育を実施してきました。また、分野横断研究を推進する学生のために統合科学技術コースを設置しました。研究面では、技術開発分野における知識創造モデル、成熟産業におけるイノベーション論、研究室ナレッジマネジメント法等を研究開発し知識科学研究を進展させました。

このように複数の研究科にまたがる学際的プログラムを推進してきましたが、当初予想していた以上の困難に直面することがありました。ひとつには知識科学研究がまだ科学技術開発現場に適用できるほど成長していなかったこと、そして何より異分野交流における意思疎通に時間がかかったことです。従って、このプログラムでは、マテリアルサイエンスの研究者が主体となって研究プロセス、学生のマネジメント、知識創造支援に関する研究を推進し、それを知識科学の研究者が支援あるいは参与観察する中で知識科学研究を発展させていくという形態をとりました。そしてこれがマテリアルサイエンスにおける知識マネジメントを意識した大学院改革プログラムにつながっていきました。また、分野横断プロジェクトにおいて自己革新、イノベーション、知識マネジメントについて学んだ後期課程学生達の成長は目を見張るものがありました。

今後はさらに、技術イノベーションに基づいた社会イノベーション研究へと視野を広げ、名実ともに知識基盤社会を牽引する研究教育拠点を目指したいと考えています。具体的には、イノベーション研究教育を推進する分野横断プロジェクトの継続に加え、統合科学技術コースが提供する共通科目「地域再生システム論」から生まれてきたバイオマスタウン研究、地域医療システム研究、コーディネータ育成法、伝統工芸活性化などの地域社会との連携プロジェクトを推進します。このような課題探索・解決型研究プロジェクトを教員が若手研究者および博士後期課程学生とともに実践し、さまざまな分野においてイノベーションを創出できる優れた人材を養成します。そして、そのような実践を通して知識基盤社会における問題発見解決学である知識科学を確立していきたいと考えています。

21世紀COEプログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」

拠点リーダー

中森 義輝

はじめに



21世紀COEプログラム  
知識科学に基づく科学技術の創造と実践  
—分野横断イノベーション研究教育拠点—

最終成果報告書

平成15～19年度

●  
発行 2008年3月

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

〒923-1292 石川県能美市旭台1-1  
tel. 0761-51-1839 fax.0761-51-1767

©Japan Advanced Institute of Science and Technology 2008